

「英語」正答例

第 I 問

問1	ア	クラスタ分析	イ	分散分析	ウ	不安／恐怖
	エ	混乱／ショック	オ	補償機能	カ	心的境界

問2	過剰適応傾向と、夢の中の感情の、関係を、調べること。
----	----------------------------

問3	大学生、229名を対象に、質問紙調査を実施した。質問内容は、
	夢見の様相、夢の記述、夢の感情評定、過剰適応傾向であった。

問4	A	×	B	○	C	○	D	×	E	○
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

第Ⅱ問

問1	ア	分析心理学	イ	元型理論	ウ	多くの面で
	エ	夢の解釈	オ	ある意味では		

問2	筆者は、ユング派の分析における、夢と心理療法過程のつながりを、					
	探究し、夢の役割についての、ユング派の考え方に					
	強い実証的な支持があることを、見出した。					

問3	A	○	B	×	C	×	D	○
----	---	---	---	---	---	---	---	---

問4	ユングが夢見の理論になした、特異的な貢献は、夢の中で、まだ統合されていない、					
	あるいは（コンプレックスという意味で）、葛藤を通して、現れさえする、					
	パーソナリティの部分が、人格化されて、現れうるということである。					

問5	A	×	B	○	C	○	D	×
----	---	---	---	---	---	---	---	---

問6	このような夢見に対する、精神分析的なアプローチと、並行して、					
	実証的な夢研究の、独立した伝統が、急速眼球運動（レム）の、					
	発見後に、進展してきた。					